

第37回岡山県性教育研究大会/第18回中国・四国地区性教育研究大会報告

岡山県性教育協議会 会長 西山 俊吾

1 研究大会開催にあたって

令和5年8月17日(木),第37回岡山県性教育研究大会・第18回中国・四国地区性教育研究大会を開催いたしました。参加者の希望や予算のことなどいろいろな条件を考慮して,前年度に引き続きウェビナー形式での開催を選択しました。参加者は84名と対面形式で行っていたときよりもやや多く,岡山県性教育協議会らしい,アットホームで充実した研究会を行うことができました。

講演のテーマの1つは,「感染症の理解」という,現場の先生方にとっては身近で最近の課題に沿ったものを選びました。もう1つは助産師さんによる「大切な自分・大切な命」という小中学校での出前講座のお話で,性教育とは何かをあらためて考えさせられるお話しでした。

2 大会の内容

期 日 令和5年8月17日(木)

会 場 岡山県立大学(ウェビナー形式)

参加者 84名

3 基本テーマ

「岡山の子どもたちに性教育を届け続けるために」——一人ひとりの生と性を大切に——

4 講演

講演の内容を紹介していますが,紙面の都合で主な内容のみの記載で,講演者の意図が十分に伝わらないことをお許しください。

【講演①】 「性感染症など感染症の理解」
吉備国際大学保健医療福祉学部看護学科
中瀬 克己 教授

講演①では,吉備国際大学教授の中瀬克己先生に,保健所長や大学の先生などの幅広い経験を生かし,感染症の理解とくにエイズ,梅毒,コロナなどの理解と学校における感染症対策について詳しくわかりやすく,お話しをしていただきました。

エイズや梅毒については,資料を使って全国や岡山県の感染状況やその対策について,詳しくお話しをしていただきました。また,

その感染に関わる周辺の状況について,患者さんの気持ちに寄り添うようなお話しやコロナ下での状況など,私たちがコロナ下で感染症とどう向き合えばよいかの指針になるお話しもしていただきました。事前に小中学校の養護教諭の困り事を聞き取るなど,学校での感染症対策のお話しは大変参考になりました。

【講演②】 「大切な自分・大切な命」
～模擬授業を通して小中学生に必要なテーマを考える～

生きテクサポート/Life is 代表

東海林美由紀 助産師

講演②では助産師の東海林さんから,小学



校での出前授業を臨場感たっぷりに実演していただきました。命の大切さをどう伝えるか,性教育はいかにあるべきかを再認識させられるお話しでした。助産師としての山あり谷ありの今までの変遷や3人の子どもの母親としての素顔,そして何よりも性教育に対する熱い思いなど,優しさが溢れ出るお話しでした。

5 大会を振り返って

大会の感想では,「エイズ・梅毒の現状について詳しく知ることができました」や「子どもが生まれたときを思い出し泣きそうになりました」などがありました。岡山県性教育協議会らしく,40年近い長い歴史に,さらに小さくしっかりとした一歩を積み重ねることができました。